

帝国とグローバリゼーション

—社会生態史的アプローチ—

To the Orient · The East Indies · India and the East



20世紀、帝国によるアジア太平洋地域への拡張や再編が進み、これらの地域の自然資源利用と自然環境破壊が加速度的に進行した。それにより、生態系や物質循環にかつてない規模の変化が引き起こされた。

この歴史的プロセスを、人間社会のコミュニケーションパターンや消費、国家や社会の変化との相互作用の結果として捉え、人間精神のありようが、巨視的な生態系変化に影響を及ぼすダイナミクスを理解する歴史学の構築を模索する。

2020年 **3月1日** (日) 午前10時～

ランチタイムミーティング、ディナートークあり

会場

国際日本文化研究センター

第五共同研究室 <http://www.nichibun.ac.jp/pc1/ja/>

参加申込／お問合せ

要事前申し込み

大阪大学 深尾研究室

FUKAOKEN@outlook.jp

オープニングセッション

劉建輝『20世紀東アジアの都市文化の伝播と価値空間の創出』

深尾葉子『満洲の成立—森林の消尽と近代空間の成立が問いかけたもの—社会生態史の試み—』

Paul Kreitman『有機物の社会生態学—トイレから鳥島まで—』

研究発表

Jonas Rüegg (ハーバード大学 Harvard University)

「海洋環境と地政学：近世日本の太平洋発見」

"Maritime Environment and Early Modern Geopolitics: Japan's Discovery of the Pacific"

Kjell Ericson (京都大学 Kyoto University)

「南洋」真珠と養殖の開発史：太平洋諸帝国における真珠養殖の計画と実態、1910～1930年」

"The South Seas of Pearl Cultivation: Farming the Coasts of the Japanese, French, Dutch, and American Empires, 1910s-1930s"

Paul Kreitman (コロンビア大学 Columbia University)

「日本の海洋ボーダーランドにおける無人島の環境史：自然及び領土権の保護」

"Japan's Ocean Borderlands: Nature and Sovereignty Conservation on Uninhabited Islands"

Edward Boyle (九州大学 Kyushu University)

「パラオの戦跡：主権、景観、記憶」

"Battlefield Palau: Sovereignty, Landscape, and Memory"

飯島真里子[Iijima Mariko] (上智大学 Sophia University)

「商品作物をめぐるコロニアリズム：日本帝国、移民、グローバル・ヒストリー」

"Cash Crop Colonialism: The Japanese Empire, Immigration, and Global History"

坪田＝中西美貴[Tsubota＝Nakanishi Miki] (上智大学 Sophia University)

「帝国の労働者—日本人農業移民と台湾」

"Agricultural Migration to Taiwan under the Japanese Empire"

永井リサ [Nagai Risa] (九州大学 Kyushu University)

「草原からシラス台地へ：20世紀初頭の内モンゴル東部草原地域からの獣骨輸出による有機物流出過程」

"From Grasslands to the Shirasu Plateau: Organic Matter Outflow from Eastern Inner Mongolia through Animal Bone Exports, 1900-1920"

コメンテーター 蘭信三

トークセッション

夕食を交えての参加者によるトークセッション。